

大崎市民病院を受診された患者さんへ

当院では下記の研究を実施しております。

この研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報等を研究目的に利用または提供することを希望されない場合は、下記の間合せ先にお問い合わせください。

情報の利用停止を希望された場合でも、治療に影響が出ることはありませんので、安心してお申し出ください。

NO.568

研究課題名	我が国の GIST 治療におけるイマチニブ使用の実態に関する研究
当院の研究責任者	所 属 : 臨床支援室 氏 名 : 竹内 満博
他の研究機関および各施設の研究責任者	研究責任者: 西田俊朗 国立がん研究センター中央病院 共同研究者: 東尚弘 国立がん研究センターがん対策情報センターがん臨床情報部 共同研究者: 石川ベンジャミン光一 社会と健康研究センター 共同研究者: 岩本桃子 がん臨床情報部研究員 共同研究者: 渡邊ともね がん臨床情報部研究員 共同研究者: 井上 泉 がん臨床情報部研究員 共同研究者: 榊原直喜 がん臨床情報部研究員
本研究の目的	本研究は、我が国における GIST 診療におけるイマチニブの使用実態を把握することを目的とします。
対象者	本研究は 2012 年度から 2013 年度の院内がん登録に登録された消化管間質腫瘍 (Gastrointestinal stromal tumor; 以下 GIST) 患者の中から、イマチニブを使用した患者さんを対象とします。
調査データ 該当期間	データ抽出期間 西暦 2012 年 1 月 1 日 ~ 西暦 2016 年 12 月 31 日 研究期間 西暦 2018 年 6 月 26 日 ~ 西暦 2020 年 6 月 30 日
研究の方法	本研究は厚生労働科学研究「希少がんの病理診断と診療体制の実態とあり方に関する研究 (H29-がん対策一般-O14)」(研究代表者: 西田俊朗) の一環です。

	2012 年～2013 年の院内がん登録および 2012 年～2016 年 DPC データを用いて、GIST と診断された患者さんのデータを抽出し、それぞれを突合せさせます。その後、診療行為コードから各治療（イマチニブ、スニチニブ、手術）を抽出し、各医療機関における GIST の診療実態（イマチニブの完遂率、スニチニブへの変更率、術後補助療法の施行率）を分析していきます。
使用する試料等	院内がん登録のデータおよび 2012 年から 2016 年の DPC のデータを使用します。
試料情報の他の研究機関への提供および提供方法	院内がん登録および DPC データは、提供の段階で個人に対して匿名化番号を割り付け、この匿名化番号によって処理されます。対応表は当院で保持しており、連結可能匿名化とし、研究で扱うデータ中に個人識別情報は一切含めません。対応表は当院の情報管理方針に従い診療情報に準じた形で管理されます。
個人情報の取り扱い	お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は収集しません。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さん個人を特定できる情報は使用されません。
本研究の資金源（利益相反）	ありません。
お問い合わせ先 （照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先）	住所：大崎市古川穂波三丁目8番1号 電話：0229-23-3311 研究担当 大崎市民病院 臨床支援室 佐々木 祐子
備考	